

編集後記

2007 年 5 月 15 日の早朝、高校 3 年生の少年(17 歳)が「母親を殺した」といって警察署に自首してきた。持っていたバッグの中には母親の頭部が入っており、切断された母親の右腕が白色塗料で塗られて室内の観賞用の植木鉢に差されていたという。未成年の子どもたちによる親の殺害や未遂事件が、この 1, 2 年、急に目立つようになってきた。警察庁のまとめでは、刑事処分の対象となる 14 歳以上の子どもによる実父母の殺害事件(未遂も含む)は、これまでは年に 3~9 件であったが、2005 年は 17 件となり、その後も連続して 2 桁になりそうだという。犯行の手口や動機があまりに奇妙であり、警察に拘留されると取り調べに淡々と応じ、食事もほとんど食べて就寝しているなどの平然とした態度に、関係者は驚いてしまうという。

今回の事件の直後から、さまざまな専門家・評論家が、この少年についてのコメントをマスコミに発表している。例によって、発達障害、アスペルガー症候群、統合失調症などのさまざまな障害名が登場している。気になることは、コメントをする人々が世界精神医学会の『倫理ガイドライン特別項目』を知っているのだろうかということである。「精神科医は、特定の個人についての精神病理学的推察をメディアに対して断言的に述べてはならない」と明記されているが、倫理観を厳しく求めたものである。心理学者や評論家は、「私は精神科医ではないから」というかもしれないが、果たしてそうであろうか。

本号では、オピニオン欄に「発達障害に関する諸概念と診断基準について」というテーマを取り上げた。発達障害者支援法や障害者自立支援法が施行され、特別支援教育が実施された今、現場では少なからず混乱が起きている。注意欠陥/多動性障害とアスペルガー症候群について、異なる世代の臨床家の意見を率直に述べてもらおうと企画したものである。この 2 つの概念についての議論を間近に見聞きし、診断基準の妥当性に関する議論が盛んになされた時代を経てきた世代と、一世代若い臨床家の考え方の違いが明らかにされればと思ったからである。それぞれに読み応えがある小論となった。両者の見解を比較していただきたい。

「巻頭言」では、内富庸介氏(国立がんセンター東病院)が、緩和ケアチームへの精神科医の積極的な参加を呼びかけている。「展望」では、秋山剛氏(NTT 東日本関東病院)が「職場復帰について」の諸問題をまとめた。本号では、奇しくも「慢性疲労症候群」、「中高齢者の集団音楽療法」、「自閉症スペクトラム障害の簡易精神機能テスト」など、日常の臨床で見過ごされがちな、しかし重要なテーマが集まった。

(K.Y.)

■ 編集委員

飯森眞喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松岡 洋夫

三國 雅彦

山崎 晃資

(ABC順)

精神医学 (第 49 巻 第 6 号)

2007 年 6 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2007 年年ぎめ予約購読料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・小松原

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。